

平成 29 年度 物部川大規模氾濫に関する減災対策協議会

議事概要

- 日時：平成 29 年 5 月 17 日（水） 9：00～9：50
- 場所：高知城ホール
- 開会
- 挨拶
- 出席者紹介
- 議事 規約 等
- 議事 水防災意識社会 再構築ビジョンに基づく取組について 等

高知市長（代理）

情報伝達手段として、緊急時には速やかに住民に情報を伝えていくことが大切であるためシティーFM と協定締結を行った。防災ラジオ等の配布について今後の課題として検討していきたい。 要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成に向け市庁内の関係部局と連携調整して取り組む。

南国市長（代理）

防災情報のチラシの内容を平成 29 年 6 月の広報に掲載し住民に配布予定。ハザードマップの改良について、物部川と国分川を合わせて今年度作成する予定。

香南市長

情報伝達手段等として臨時災害情報提供のためケーブルテレビとの連携をいかに取っていくかが課題である。

香美市長（代理）

防災行政無線の整備を進めている。今年度は土佐山田町において整備をする予定。浸水想定区域内については、全戸に戸別受信機を配布し今年度末に運用予定。ハザードマップを、今年度中に更新し香美市全戸に配布予定。

高知県危機管理部長

高知地方気象台が今日から改善される、防災気象情報は避難勧告の発令のタイミングの参考になる。今後、避難勧告にどのように使うか検討をしていきたい。

高知県土木部長

中央東土木事務所について、庁舎 1 階にある電源設備の浸水被害対策の検討を行う。

高知地方気象台長

各市のタイムラインの精度向上に関して、気象情報がどのような内容やタイミングで発表されるのか助言を行っていきたい。出水時の対応として、担当者同士でコミュニケーションをとり、最終的に首長の判断が必要になる段階で助言をしていく。5月17日から危険度を色分けした時系列一覧表を公表しており、これを用いて事前の準備をしていただきたい。

高知河川国道事務所長

物部川のハード対策として、下ノ村の引堤事業を行っており、現在は旧堤防の撤去、侵食対策を行っている。啞内、岩積の浸透対策を行っていく。各市で作成しているタイムラインについて高知河川国道事務所も協力していく。スマートフォン等によるプッシュ型配信を、今年5月1日より開始している。地震時と同じように、洪水情報についても流域住民の方々に情報を届けることを開始している。